TOSHIBA

東芝空調換気扇
取扱説明書

形 名
VFE-70XK
VFE-70XKC

もくじ

安全上のご注意 ······1〜2

各部のなまえとはたらき ··········3

使いかた ························4

お手入れのしかた ············5〜6

仕様 ···························6

修理を依頼される前に ············7

修理とお取り扱いのご相談は ······7

- このたびは東芝空調換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

安全上のご注意

●ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、※物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

図記号	図記号の意味
改造禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「改造禁止」を示します。
電源を切る	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源を切る」を示します。

⚠警告

取付・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼すること

取付工事が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

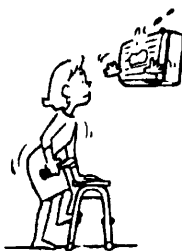
取付は依頼

取付は、取付説明書に従って確実に行うこと

取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

確実に取付ける

改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります。

改造禁止

修理技術者以外の人は分解、修理(※)をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買上げの販売店、または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

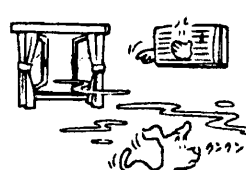
分解・修理禁止

こげ臭い、煙がでているなど、異常のときは、運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること

異常のまま運転を続けると、火災・感電の原因になります。
※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

電源を切る

可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気すること

電源スイッチを入れたり切ったりすると、ガス爆発の原因になります。

窓を開ける

⚠警告

お手入れのときは運転を停止し電源ブレーカーを「切」にすること
感電・けがの原因になります。

電源を切る

電気部品に水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしないこと
漏電により火災・感電の原因になります。

水かけ禁止

本体カバーのすき間から、棒や針金などを入れないこと
感電・けがの原因になります。

接触禁止

差込みプラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと（差込みプラグ付の場合）
火災の原因になります。

ほこりをとる

ぬれた手でスイッチに触れないこと
感電の原因になります。

水ぬれ禁止

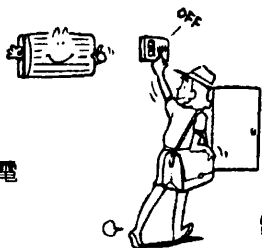
感度調節時等に、羽根に触れないこと
急に羽根が回りけがの原因になります。

接触禁止

電源は交流100Vを使うこと
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

交流100V使用

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を遮断すること
絶縁劣化による火災・感電の原因になります。

電源を切る

浴室など湿気の多い所では使わないこと
火災・感電の原因になります。

使用禁止

本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付けること
落下により、けがをする原因になります。

確実に取り付ける

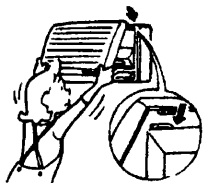
差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜くこと（差込みプラグ付の場合）
コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
本体・部品の落下によりけがの原因になります。

使用禁止

炎を近づけたり、あてたりしないこと
火災の原因になります。

炎禁止

お手入れのときは、ゴム手袋を着用すること
手袋を着用しないとけがの原因になります。

手袋着用

各部のなまえとはたらき

本体カバー

形名表示

パネル
運転時に開き、停止時に閉じます。

表示・操作部

本　体

羽根

ドレン皿

前側

熱交換器
運転中、外気の温度を室温に近づけ給気します。

外気清浄フィルター
外気に含まれている汚れを取り除き、きれいな空気を取り入れます。

安全上の注意ラベル

湿度感度調節ツマミ

表示・操作部

（使いかた4ページ）

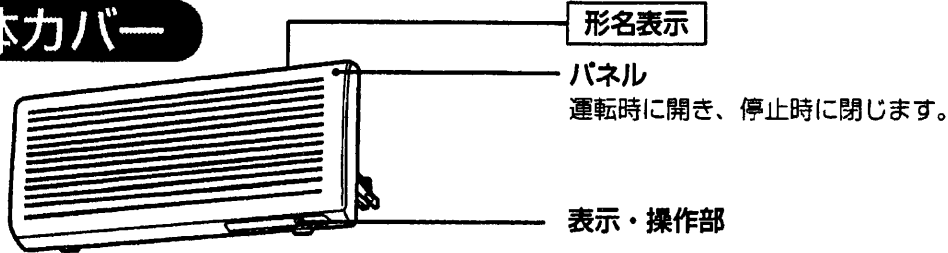
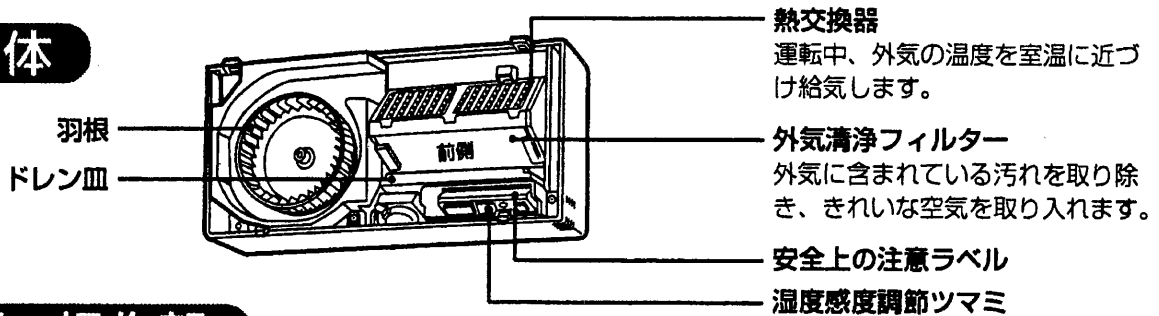
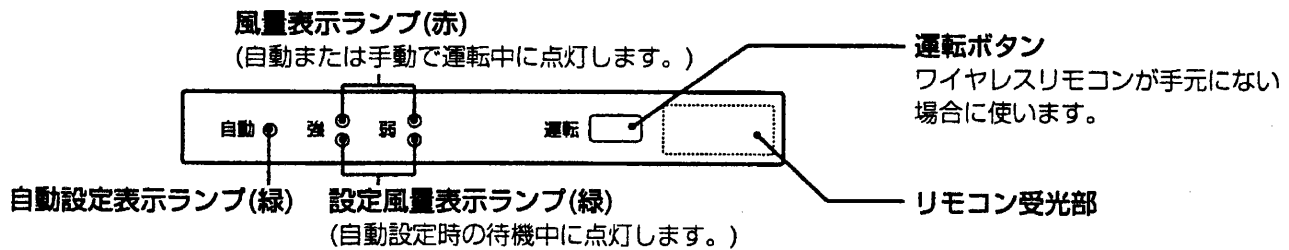
風量表示ランプ(赤)
(自動または手動で運転中に点灯します。)

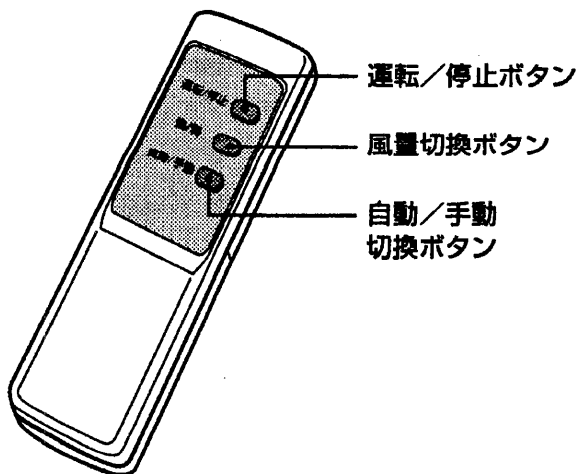
自動　強　弱　運転

運転ボタン
ワイヤレスリモコンが手元にない場合に使います。

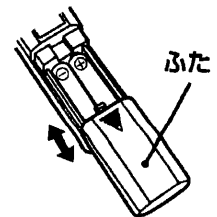
自動設定表示ランプ(緑)

設定風量表示ランプ(緑)
(自動設定時の待機中に点灯します。)

リモコン受光部

リモコン

（使いかた4ページ）

リモコンへの電池の入れ方(お使いになる前に)

1.ふたをあけます。
2.電池を入れます。
　⊕⊖の表示に合わせ、単4乾電池2本を入れます。
3.ふたを閉めます。

ふた

お願い

電池の破裂や液もれを防ぐため、次のことをお守りください。
電池は単4形乾電池(RO3)2個をご使用ください。
●充電式(Ni-Cd)電池は使わないでください。
●長時間使用しないときは、電池を取りはずしてください。
●目安として本体がリモコンで作動しづらくなりましたら早めに電池をお取り換えください。
●電池の取り換えは、同じ種類の新しい電池を2個同時に取り換えてください。

特長　冬期湿度センサーによる自動運転ができます。

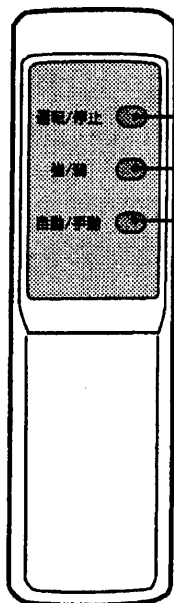
自動運転とは

●湿度センサーが室内の湿度を感知して自動的に運転を開始し、室内の湿気を排出して自動的に停止します。
　(湿度が下がってからは30分間運転後停止します。)
●風量（強・弱）切り換えは、お好みにより選択できます。
●湿度センサーの感度調節ができます。(詳しくは、4ページの使いかたをごらんください。)

メモ　夏期・梅雨時の除湿効果はありませんので、「自動」運転はしないでください。(湿度が下がらず停止しない場合があります。)
冬期以外に換気を目的に運転する場合は「手動」でお使いください。

使いかた

リモコンまたは本体の運転ボタンにより操作します。

リモコンの使いかた

運転／停止ボタン

運転させるとき、停止させるときに押します。

●停止中に押すと—運転します。
●運転中に押すと—停止します。

風量切換ボタン

ボタンを押してお好みの風量を選びます。

●ボタンを押すたびに「強」と「弱」が切り換わります。
●手動設定時・自動設定時ともに切り換えができます。
●自動運転時、湿度が低く停止(待機)している場合でも切り換えができます。

自動／手動切換ボタン

ボタンを押してお好みの運転を選びます。

●ボタンを押すたびに「自動」と「手動」が切り換わります。
●「自動」に設定された場合は、自動設定表示ランプ(緑)が点灯します。

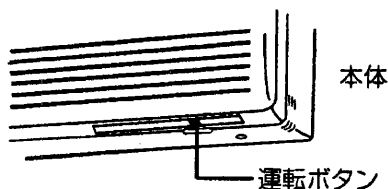
リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。
●操作可能距離は正面で約5m以内です。受光部に対して斜めになるほど距離は短くなります。

お願い

●リモコンを落としたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(故障の原因になります。)
●複数台の製品を取り付けた場合、他の製品が受信する場合がありますので注意してください。

本体の運転ボタンの使いかた

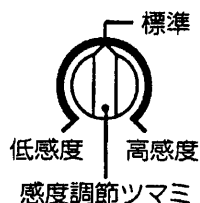
リモコンが手元にない場合に使います。

●ボタンを押すたびに次の順に切り換わります。

風量表示ランプおよび自動設定表示ランプで確認してください。

湿度センサーの感度調節のしかた

分電盤ブレーカーを切ってから行ってください。
電源を切らずにツマミを回すと羽根が急に回り、けがをする原因になります。
本体カバーの着脱のしかたは、5・6ページのお手入れのしかたをごらんください。

標準
低感度　高感度
感度調節ツマミ

●右に回す(高感度)
●左に回す(低感度)

感度調節ツマミ	湿度の目安(%)
高感度	(30)
標　準	(55)
低感度	(80)

次のことをお守りください

●スプレー(殺虫用・掃除用・整髪用など)をふきつけないでください。
変質・破損の原因になります。またセンサーの故障の原因になります。

●パネルを押したり、無理に引っぱったりしないでください。
可動パネルの故障の原因になります。

●次の場所では使わないでください。
・直射日光があたる場所
・照明器具から2m以内の場所
リモコンがはたらきにくくなることがあります。

お客様のご使用目的により必要に応じて感度調節をしてください。尚壁面結露防止効果はありますが、効果は外気温度および室内温度・湿度などにより異なります。

お手入れのしかた

機能低下を防ぐため、熱交換器、外気清浄フィルターのお手入れは定期的に行ってください。

お手入れの前に

⚠警告

お手入れの前に分電盤のブレーカーを「切」にすること

感電・けがの原因になります。

⚠注意

お手入れのときは、ゴム手袋を使うこと

けがをする原因になります。

●お手入れは中性洗剤をご使用ください。また、タワシなど固いものは使用しないでください。

変質・破損の原因となります。

部品のはずしかた

本体カバー

本体カバー下部の手掛け部(2ヶ所)をもって手前に持ち上げるようにしてはずします。

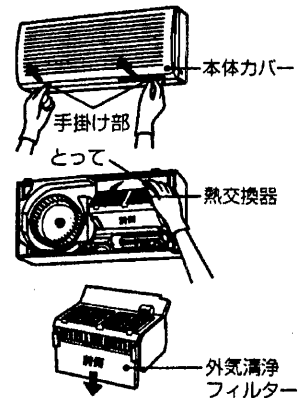
熱交換器

とってを持って矢印の方向にまわすようにして手前に引き出します。

お願い

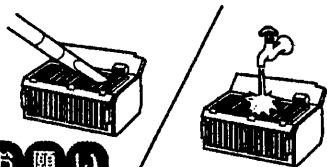
●寒冷地では冬期、熱交換器が凍結する場合があります。
　このときは無理に取り出さないでください。
　(掃除は熱交換器前面のほこりをとるだけにしてください。)

外気清浄フィルター

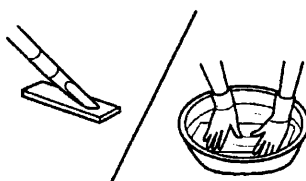
矢印の方向にはずします。

各部の掃除

熱交換器の掃除
(6ケ月に1回以上)

●ほこりを掃除機で吸い取ります。
●汚れのひどいときは、水洗いしてほこりを落とします。よく乾かしてから取り付けてください。

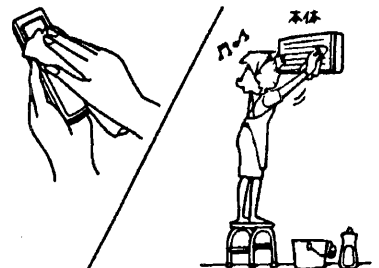
お願い

●熱湯、薬品、揮発生の溶剤などをかけないでください。
●落としたり、強い力を加えたりしないでください。
●乾かすときは、日かげで自然乾燥してください。
●ドライヤー・ストーブの温風など、高温での乾燥はやめてください。
　(変形の恐れがあります。)
●火にあぶらないでください。

外気清浄フィルターの掃除
(6ケ月に1回以上)

●ほこりを掃除機で吸い取ります。
●汚れのひどいときは、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水で洗剤を流してからよく乾かします。

お願い

●もみ洗いはしないでください。
●乾かすときは、日かげで自然乾燥してください。
●熱湯や薬品をかけないでください。
●ドライヤー・ストーブの温風など、高温での乾燥はやめてください。
●火にあぶらないでください。

本体、本体カバー、リモコン、リモコンホルダーの掃除
(3ケ月に1回以上)

●中性洗剤を水またはぬるま湯に溶かした溶液に布を浸たし、固くしぼってから汚れをふきとります。
●洗剤が残らないよう、きれいな布でふきとってください。

お願い

●本体・本体カバー・リモコンは水洗いしないでください。

お手入れ後の組立

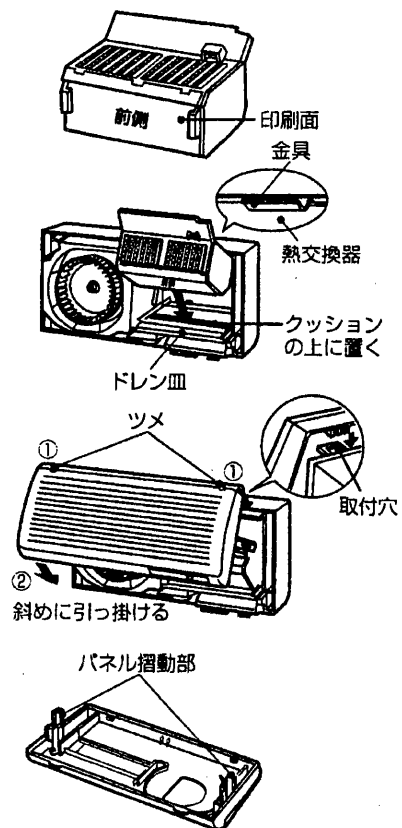
はずした逆の順序で組み立てます。

1 外気清浄フィルターを熱交換器に取り付けます。
印刷面が「前側」となるよう取り付けてください。

2 熱交換器を取り付けます。
ドレン皿のクッション部に置き、上部の金具にはめ込みます。
外気清浄フィルターの付いている方が正面です。

3 必ず外気清浄フィルター、熱交換器が取り付いているのを確認し、本体カバーを取り付けます。
①本体カバー上部のツメを本体上部の取付穴(2ヶ所)に引掛け
②下部を押さえてはめ込みます。
本体カバーが確実に取り付いていることを確認してください。
(不完全ですと落下する恐れがあります。)

お願い

- 本体カバーのパネル摺動部には力を加えないでください。
  (故障の原因になります。)
- 本体カバーのパネルを引っぱらないでください。
  (変形し、故障の原因になります。)

試運転

お手入れが終わりましたら正常に運転するか、確認してください。

- 羽根は回っていますか。
- パネルが正常に開きますか。
- 異常な振動・騒音はありませんか。

仕様

電圧100V (50Hz・60Hz共用)

形　名		消費電力 (W)		風量 (m^3/h)		騒音 (dB)		温度交換効率 (%)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VFE-70XK, 70XKC	強	26	27	70	72	36	36.5	52	52	5.2
	弱	19	21	46	46	26.5	26.5	65	65	

- 風量、騒音の値は、JIS C9603の測定方法に準じます。

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現　象	点　検
リモコンで作動しない。	●電池が消耗していませんか。 ●電池の入れかた(⊕ ⊖の方向)が間違っていませんか。
スイッチを、入れても風が出ない。 パネルが開かない。	●ブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。
運転中に、異常音や振動がする。	●換気扇が確実に取り付いていますか。 ●羽根が確実に取り付いていますか。 ●本体カバーが本体に確実に取り付いていますか。

● 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼してください。(有料)

※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

修理とお取り扱いのご相談は

東芝家電製品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
「東芝家電修理ご相談センター」
0120-1048-41 (フリーダイヤル)

新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
「東芝家電ご相談センター」 0120-1048-86 (フリーダイヤル)
携帯電話・PHSからのご利用は (03)3426-1048
FAX 03-3425-2101(365日 8:00~20:00受付)

※電話受付:365日 24時間受付 ※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどの一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは　　出張修理

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源スイッチを切り、差込みプラグのあるものは差込みプラグをコンセントから抜いて、上記の販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　名	空調換気扇
形　名	VFE-70XK, VFE-70XKC
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買上げ店名 ☎ (　　)　　―

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。

●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅いまたは不規則。
●こげ臭いにおいがする。

故障や、事故防止のため、電源を切って必ず販売店又は工事店にご連絡ください。
点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

東芝キヤリア株式会社　換気機器部

〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

ET99900401－①